

研究主題

「協働的な学び」の実現
九条地域を代表する産業 ～ ネジの旅 ～

大阪市立九条南小学校

1. 取組内容

《「ネジの旅」学習の柱》 — 5年生の取り組み —

- ・社会科・・・「日本の工業の特色」について、グループごとにタブレット端末や図書資料で調べた内容を新聞にまとめ、学級全体で交流。(地域産業への興味を高める)



- ・総合・・・「ネジの旅」(出会いふれあい学習)では、4グループに分かれ、ネジ工場やネジを流通する事業所を見学。帰校後、見学メモやタブレット端末で撮影したビデオや写真を活用し、グループで学んだ内容について新聞にまとめ、発表会を実施。

- ・総合・・・ゲストティーチャーを招聘し、「あおぞら教室」(ネジの歴史・仕組み・役割)を実施。



- ・社会科・・・「もっと知りたい」「もっと調べたい」ことについて、グループごとにテーマを決めて調べ学習を実施。タブレット端末・図書教材を活用。(ネジの種類や製造過程、輸出・輸入の量や相手国、活用法など)



- ・国語・・・調べたデータを活用し、協働学習のまとめを実施。

- ・社会科・・・「ネジ新聞」の作成。



- ・図画工作科・・・「ネジへの思いを形に!!」では、ネジへの思い・地域産業への思いを確認し、広がったネジへの感性をいかして「ネジアート」に取り組む。指導・講評は花園大学の古林 茂教授。

- ・「ネジの旅」展示会を開催。(パワーポイントを使った学習過程の紹介・「ネジ新聞」「ネジアート」の展示)

- ・ネジの業界新聞からの取材や、保護者・地域・ネジ協会の皆さまの鑑賞会を実施。

- ・学習のまとめ



2. 成果と課題

- 地域を代表する産業について詳しく学習したことで、地域への理解が深まった。
- 「ネジへの思い」「地域産業への思い」を造形活動で表現したことで、ネジへの思いが深まり、地域愛を育むことができた。
- 地域のご厚意で多種多様な大量のネジを提供していただいたことで、図画工作科において、児童は発想豊かな作品を仕上げることができた。創造的な技能を育むよい題材となった。
- 協働学習を授業に取り入れたことで、全員が主体的に調べたり、意見を述べたりできた。
- 各グループの学習内容を交流したことで、情報量が増え、新たな発見があった。
- 児童が、書籍やタブレット端末を有効に活用したり、視聴覚機器を使った発表を経験したりしたことで、情報機器の操作に慣れることができた。
- 九条南小学校で16年間にわたり継続して実施してきた、本校の特色ある取組である「出会いふれあい教育」を展示会という形で、保護者・地域に学習の成果を発信できた。



- グループでの見学や活動については、教職員の付き添いや支援の在り方を考えて、体制づくりを行う。
- 今回の取組の中では、図書教材が有効活用されていた。研究課題に沿った内容の図書教材を充実させることで、インターネットだけに頼らず、広く知識を習得できる図書教材への興味・関心を高め読書活動の活性化にもつなげることができる。
- 九条地域を代表する材料として、今後も本校の特色ある取組として継承させていく。

